

[訂正]8月31日付けで資料提供した次の資料について、次の
とおり修正がありました。(9月2日修正)

- ・疾患別定点情報(1)の集計期間末日 (正)令和8年8月2日
- ・急増疾患(インフルエンザ)の数値 (正)0.05→0.10

資料提供
令和8年8月31日
課名 健康危機管理課
(感染症・疾病管理センター)
担当者 東久保
電話(直通) 082-513-3068
(内線) 3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和8年8月解析分)



広島県 結核予防

検索

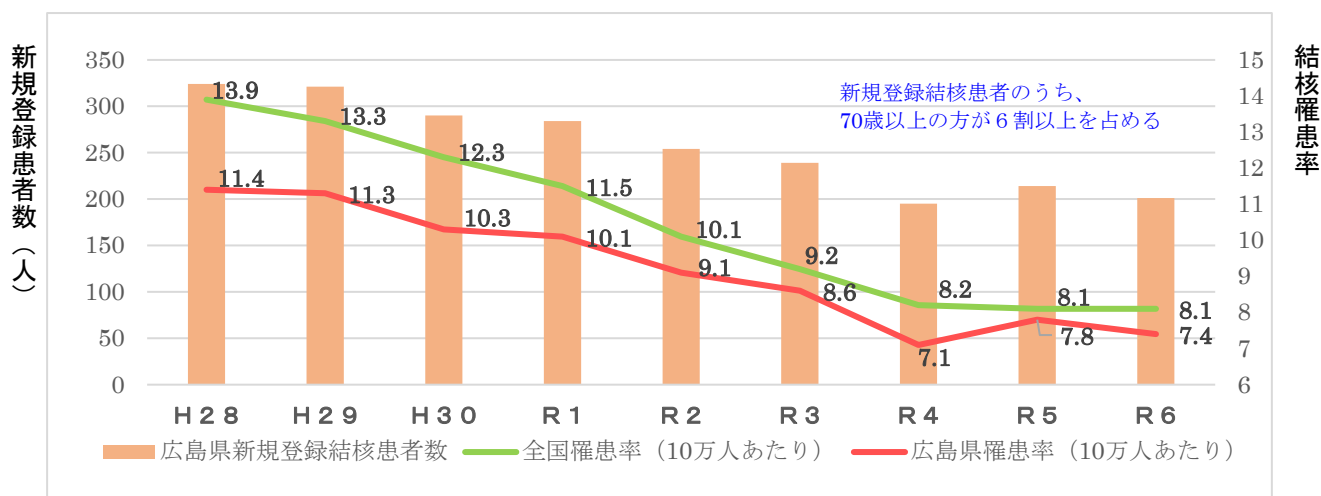
1 今月のトピックス

■ 9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。

年1回、胸部エックス線検査を受けましょう。

- 厚生労働省は、毎年9月24日から9月30日までを結核・呼吸器感染症予防週間とし、結核と呼吸器感染症に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。
また、公益財団法人結核予防会は、毎年8月1日から12月31日に複十字シール運動を実施し結核や肺がんなどの胸部に関する疾患の予防の普及啓発とその実現に向けて募金活動を行っています。
- 結核は、昔の病気ではなく、今でも全国で年間1万人もの新しい患者が発生し、約1,500人が命を落としている重大な感染症です。
- 医療や生活水準の向上により、新規登録結核患者は減少傾向にありますが、結核について知ることが予防への第一歩です。早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけではなく、大切な家族や職場などへの感染の拡大を防ぐためにも重要です。
これを機会に、年1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

■ 広島県の結核患者発生状況



■ 結核感染拡大を防ぐために

胸部エックス線検査を受けましょう！

- ・学校や職場で健診を受ける機会のない高齢者の方も、市町の住民健診等で年1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

健康的な生活を心がけましょう！

- ・バランスのとれた食事・適度な運動・十分な睡眠・禁煙・ストレスをためないなど、免疫力を高めましょう。

1歳までに予防接種(BCG)を受けましょう！

- ・BCGは結核を予防するワクチンです。ワクチンを接種して、未然に防ぎましょう。

治療は、結核の薬をきちんと飲みましょう！

- ・薬は決められた期間、しっかり飲みましょう。中断してはいけません。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年7月分(令和8年7月6日～令和8年8月23日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	15,579	41.88	-	→	11	突発性発しん	41	0.18	0.28 →
2	インフルエンザ ※3	39	0.10	0.23	↑	12	ヘルパンギーナ	288	1.29	1.50 →
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	494	1.33	-	↗	13	流行性耳下腺炎	7	0.03	0.04 ↘
4	RSウイルス感染症	65	0.29	2.04	→	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00
5	咽頭結膜熱	79	0.35	0.39	↘	15	流行性角結膜炎	29	0.38	0.44 ↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	400	1.79	1.31	↘	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01
7	感染性胃腸炎	847	3.78	3.99	→	17	無菌性髄膜炎	2	0.03	0.04
8	水痘	39	0.17	0.09	↘	18	マイコプラズマ肺炎	53	0.66	0.37 ↑
9	手足口病	814	3.63	4.53	↗	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00
10	伝染性紅斑	8	0.04	0.42	↘	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.03	0.01

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。 ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年7月分(7月1日～7月31日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
21	性器クラミジア感染症	80	3.64	3.03	↗	24	淋菌感染症	28	1.27	1.17	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	17	0.77	0.79	↘	25	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	72	3.60	3.50	↗
23	尖圭コンジローマ	16	0.73	0.69	↘	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.11	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 「薬剤耐性緑膿菌感染症」は、2026.4.6から「多剤耐性緑膿菌感染症」に名称変更され、また、全数報告に変更されましたので5月からは月報対象外になりました。

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)					発生記号(前月と比較)		
○急増疾患	インフルエンザ	(0.050-50 → 0.10)			↑	↓	1:2以上の増減
○急減疾患	なし	(0.31 → 0.66)			↗	↘	1:1.5～2の増減
					↗	↘	1:1.1～1.5の増減
					→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内154の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	56	19	22	20	154

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	28	結核(28)〔西部保健所(4)、西部東保健所(1)、東部保健所(4)、広島市保健所(13)、呉市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
三類	19	腸管出血性大腸菌感染症(19)〔西部保健所(4)、広島市保健所(11)、呉市保健所(1)、福山市保健所(3)〕
四類	21	レジオネラ症(11)〔西部保健所(1)、東部保健所(2)、北部保健所(1)、広島市保健所(5)、福山市保健所(2)〕 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)〔呉市保健所(1)〕 日本紅斑熱(9)〔東部保健所(4)、呉市保健所(1)、福山市保健所(4)〕
五類	46	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(4)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 急性脳炎(2)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(6)〔西部東保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(3)〕 破傷風(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(27)〔西部東保健所(1)、広島市保健所(17)、呉市保健所(2)、福山市保健所(7)〕 百日咳(3)〔福山市保健所(3)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)														
2026年7月31日 現在														
分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	25	41	31	40	34	30	28						229
	小 計	25	41	31	40	34	30	28	0	0	0	0	0	229
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0						0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0						0
	腸管出血性大腸菌感染症	17	6	5	14	8	15	19						84
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0						0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0						0
	小 計	17	6	5	14	8	15	19	0	0	0	0	0	84
四類	E型肝炎	1	0	1	3	0	1	0						6
	A型肝炎	1	0	0	0	0	0	0						1
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0						0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0						0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0						0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	2	1	1						4
	日本紅斑熱	0	0	0	2	10	7	9						28
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0						0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0						0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0						0
	レジオネラ症	6	1	5	5	9	4	11						41
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0						0
	小 計	8	1	6	10	21	13	21	0	0	0	0	0	80
五類	アメーバ赤痢	1	2	1	0	2	1	0						7
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1	2	2	0	0						5
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	7	3	1	2	1	4						18
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0						0
	急性脳炎	0	2	2	1	0	1	2						8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	0	2						3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	2	3	1	0	0						11
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	1	1	1	1						5
	ジアルジア症	0	0	0	0	1	0	0						1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	0						0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0						0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4	7	3	3	1	6						27
	水痘(入院例)	0	0	0	1	2	1	0						4
	多剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	0	0	1	0						1
	破傷風	2	1	0	0	0	0	1						4
	梅毒	10	12	18	16	18	8	27						109
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	1	0	0						2
	百日咳	23	19	9	14	10	9	3						87
	風しん	0	0	0	0	0	0	0						0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1	0	0	0						1
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0						0
	麻しん	1	0	0	0	0	2	0						3
	小 計	44	49	43	45	43	26	46	0	0	0	0	0	296
合 計		94	97	85	109	106	84	114	0	0	0	0	0	689

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

※ 「薬剤耐性緑膿菌感染症」が2026年4月6日から「多剤耐性緑膿菌感染症」に名称変更され、全数報告に変更されました。

【類別感染症名】

一類	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺炎症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性弛緩性麻痺、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、多剤耐性緑膿菌感染症、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和8年7月1日～8月18日

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
115	132	88	44	0

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチア	5	10	血液, 痂皮	R8. 7月	60代～90代	東部, 福山市
	<i>Rickettsia tamurae</i> *	1	1	痂皮	R8. 7月	80代	東部
重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 疑い	紅斑熱群リケッチア(解析中)	1	1	血液	R8. 8月	70代	東部

* 推定感染日にミマイシを処方されており、紅斑熱の可能性は低い。痂皮からの*R. tamurae*の検出は、*タマシキ*に刺咬されたためと考えられる。

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況(別紙)

4 五類感染症からの検出状況(急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む)

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	8	8	鼻咽頭, 咽頭	R8. 7月～8月	0～79	東部, 東部(福山)
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)+ライノウイルス	3	3	鼻咽頭, 咽頭	R8. 7月	2～19	西部(広島), 西部東, 東部
手足口病	コクサッキーウイルスA6型	1	1	咽頭	R8. 7月	1	東部
	コクサッキーウイルスA6型+メタニューモウイルス	1	1	咽頭	R8. 7月	2	西部東
ヘルパンギーナ	コクサッキーウイルスA6型	1	1	咽頭	R8. 7月	1	西部東
	エンテロウイルスNT	2	2	咽頭	R8. 7月	3, 4	西部東
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	4	4	咽頭	R8. 7月	10～40	東部
RSウイルス感染症	RSウイルスB型+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 7月	1	東部(福山)
	RSウイルスA型+新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R8. 7月	3	東部(福山)
	RSウイルスA型+アデノウイルスNT	2	2	鼻咽頭	R8. 7月	0, 4	東部(福山)
伝染性紅斑	パレコウイルス3型	1	3	血液, 鼻腔, 便	R8. 7月	0	東部(福山)
無菌性髄膜炎	メタニューモウイルス(鼻咽頭)+パレコウイルス1型(便)	1	2	鼻咽頭, 便	R8. 8月	0	東部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和8年7月1日～8月18日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	4	ダニ類媒介感染症疑い(4)
西部(広島)	14	ダニ類媒介感染症疑い(2), 急性呼吸器感染症(ARI)(12)
西部(呉)	0	
西部東	23	麻疹(成人)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(19), 感染性胃腸炎(1)
東部	59	ダニ類媒介感染症疑い(22), 急性呼吸器感染症(ARI)(25), インフルエンザ [*] (4), 新型コロナウイルス感染症(4), 手足口病(1), 無菌性髄膜炎(3)
東部(福山)	25	急性呼吸器感染症(ARI)(22), 伝染性紅斑(3)
北部	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
福山市	6	ダニ類媒介感染症疑い(6)
呉市	0	

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（令和8年6月末～令和8年8月上旬）

	報告週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	計
		6/29～7/5	7/6～7/12	7/13～7/19	7/20～7/26	7/27～8/2	8/3～8/6	
検査患者数		12	14	16	13	15	14	84
陽性患者数		9	11	11	9	15	11	66
AH1pdm09型インフルエンザウイルス								0
AH3型インフルエンザウイルス								0
B型インフルエンザウイルス(ヒト外ア系統)								0
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)		1	3	3		2	3	12
RSウイルス A型		1		1		2		4
RSウイルス B型					1			1
パラインフルエンザウイルス1型		2	2		1	1	2	8
パラインフルエンザウイルス2型								0
パラインフルエンザウイルス3型			2	2	3	6	2	15
パラインフルエンザウイルス4型								0
ライノウイルス/エンテロウイルス								0
ライノウイルス			2	1	3	3	5	14
エンテロウイルスNT				1	1		2	4
コクサッキーウイルスA2型								0
コクサッキーウイルスA6型		2	1					3
エコーウイルス3型				1				1
メタニューモウイルス		3	3	3	1	2		12
アデノウイルスNT		4	1	2		1	2	10
ヒトコロナウイルスHKU1								0
ヒトコロナウイルスNL63								0
ヒトコロナウイルス229E								0
ヒトコロナウイルスOC43								0
マイコプラズマ・ニューモニエ						1		1

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。

病原体（細菌）解析状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

対象期間：令和8年4月1日～令和8年7月31日に菌株の解析を依頼されたもの

1 保健所別検査依頼受付状況

保健所地区	菌株数	疾患名（菌株数）
西部	8	腸管出血性大腸菌感染症(7)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)
西部(広島)	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)
西部(呉)	0	
西部東	3	腸管出血性大腸菌感染症(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)
東部	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)
東部(福山)	1	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)
北部	0	
福山市	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)
呉市	0	
合計	18	

2 三類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断 年月日	依頼 年月日	患者の 年齢	発生地区	菌種	性状
腸管出血性 大腸菌 感染症	R8. 4. 4	R8. 4. 14	56	東部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT2、MLVA型：26m0034
	R8. 4. 17	R8. 4. 20	42	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0103:H2、ペロ毒素型：VT1、MLVA型：16m4021 …①
	R8. 4. 15	R8. 4. 21	76	西部広島	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0103:H2、ペロ毒素型：VT1、MLVA型：16m4021 …②
	R8. 5. 2	R8. 5. 12	71	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：05:H－/Hg9、ペロ毒素型：VT1 …③
	R8. 5. 6	R8. 5. 12	78	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：05:H－/Hg9、ペロ毒素型：VT1 …④
	R8. 5. 12	R8. 5. 13	11	西部東	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H－、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m0029 …⑤
	R8. 5. 15	R8. 5. 21	92	西部東	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H－、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m0029 …⑥
	R8. 6. 5	R8. 6. 10	32	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT2、MLVA型：26m0073
	R8. 6. 23	R8. 7. 1	18	西部広島	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H－、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m0145
	R8. 6. 27	R8. 7. 24	33	東部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m0151
	R8. 7. 7	R8. 7. 9	33	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m0177
	R8. 7. 20	R8. 7. 22	42	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m0191
	R8. 7. 22	R8. 7. 24	8	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0111:H－、ペロ毒素型：VT1+VT2、MLVA型：26m3018

【コメント】

①と②については、MLVA型が一致したが、関連性は不明であった。③と④及び⑤と⑥はそれぞれ同居家族であった。

0157が8株確認されたが、MLVA型は一致せず(同居家族を除く)、関連性は不明であった。

3 五類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断 年月日	依頼 年月日	患者の 年齢	発生地区	菌種	性状
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	R8. 4. 27	R8. 5. 7	100	西部	<i>Streptococcus dysgalactiae</i>	Lancefield群別：G群、 <i>emm</i> 型： <i>stG6792. 3</i>
	R8. 5. 11	R8. 5. 18	93	福山市	<i>Streptococcus agalactiae</i>	Lancefield群別：B群、T血清型別：V型
カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌 感染症	R8. 4. 13	R8. 4. 22	69	東部福山	<i>Escherichia coli</i>	カルバペネマーゼ産生性：陽性、 β -ラクタマーゼ産生性：メタロ- β -ラクタマーゼ型、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：NDM型(NDM-1)、CTX-M-1 group
	R8. 5. 25	R8. 5. 28	77	西部東	<i>Escherichia cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC β -ラクタマーゼ型、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：EBC型
	R8. 5. 22	R8. 5. 28	89	福山市	<i>Escherichia cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：KPC型、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：EBC型